

Shared Space における視覚障害者への対応に関する国際的な調査

○Hisham Elser Bilal Salih 竹田一則 柿澤敏文 小林秀之 森まゆ
(筑波大学人間総合科学研究科) (筑波大学人間系)

KEY WORDS: 視覚障害者 Shared Space アクセシビリティ

(目的)

Shared Space とは、オランダの交通計画者 Hans Monderman によって提唱された考え方であり、道路上の信号や標識類を最低限に撤去し、道のデザインに配慮し、最低限の交通ルールと人々のコミュニケーションによって歩車共存の空間を配慮した新しい道を再構築する概念である(Hamilton-Baillie, 2008; Rob, 2012)。

本研究においては、Shared Space における視覚障害者の利便性及び安全性を評価するとともに、新たに導入を検討する際、視覚障害者への配慮すべき点を示すことを目的とした。

(方法)

2 か国 3 か所の Shared Space において、ヒアリング調査及びビデオ観察を行った。なお、対象とした Shared space 及び調査期間は次の通りである。

- ・ オーストリア ウィーンにある Shared Space "mariahilfer" (2017 年 2 月 27~3 月 1 日)
- ・ スロヴェニア リュブリャナにある Shared Space “ソロベニスカストリート” (2017 年 3 月 2 日~5 日)
- ・ オーストリア グラーツ市グラーツ大学の近くにある Shared Space "sonnenfelsplatz" (3 月 6~8 日)

ヒアリング調査の参加者は 8 名であり、弱視 2 名、全盲 6 名、居住地はウィーン 2 名、グラーツ 3 名、スロベニア 3 名であった。3 か所の Shared Space で視覚障害者に面接し、不便さ・設計材料の評価・危険・不自由さ・不安・行先を見失った時の手がかりの有無・方向維持・必要な配慮・希望などを調査した。

(結果)

ヒアリング調査から得られた結果は次のとおりである。シェアードスペースの設計材料については次の希望があった。

- ・ 点字ブロックの設置場所の改善。
- ・ 弱視利用者に適したハイコントラストの配慮。
- ・ 警告ブロックの設置・バス停などを示すような触覚およびハイコントラストの目印の設置。

また、方向維持に関する質問について、ほとんどの参加者がその場所を長期間にわたって利用していたため、だいたいのレイアウトを把握していた。ただし、方向を失った際、点字ブロックおよび近くの建物、太陽などを方向維持に使用していた。Shared Space では段差が除去されているが、盲導犬は段差を目印として使用するの、盲導犬利用者が段差の代わりに目印になるような配慮を要求していた。

その他の希望としては、次の事項があげられた

- ・ 事前コミュニケーションを促すため、自転車の運転者がベルを鳴らすなど、視覚障害者に自転車の走行を知らせるような配慮が必要。
- ・ 現在地の把握及び周囲環境の確認を知らせるような音情報が望ましい。
- ・ 上記の配慮点を考慮するという条件で、8 名のうち 6 名が新たな Shared Space の設置に賛成した。

次に視察の結果について、実際に、視覚障害を有する筆者がシェアードスペースを歩行し気づいた点を以下に示す。

- ・ ゆっくり歩けば相手が白杖に気づいて道を譲ってくれた。
- ・ 車も低速走行したり止まったりしてくれて危険はなかった。
- ・ 自転車の走行が一番危険を感じた。無音で走行するため、事前コミュニケーションが不可能だった。
- ・ 店のドアが閉まっていたため、周りにどんな店があるのか、自分がどのあたりを歩いているかなどがわからなかった。
- ・ 点字ブロックを利用し、車道と歩道を区別できた。
- ・ ところどころに点字ブロックの不適切な設置があったり、ストリートカフェが歩行の妨げになったりしていた。
- ・ 場所によって、近くの建物がランドマークとして使用された。
- ・ 音声的な情報があれば望ましい。

(考察)

面接および視察の結果から、視覚障害者が Shared Space を安全に利用するため、下記の点を考慮する必要がある。

- ・ 点字ブロックの適切な設置
- ・ 警告ブロックおよびハイコントラストの設置による目印の明確化
- ・ 現在地や周囲環境を把握できるような音サインの設置
- ・ 晴眼者（一般の人）の理解を高めるために、視覚障害者への注意喚起を看板等の設置により周知する

(謝辞)

本研究に関する意見および資金の面から支援していただいた筑波大学国際産学連携本部の川本先生に感謝の気持ちを表します。

(文献)

- Hamilton-Baillie, B. (2008) "Shared space: Reconciling people, places and traffic." Built environment 34.2 161-181.
- Hinds, Pamela J., and Suzanne P. Weisband. (2003) "Knowledge sharing and shared understanding in virtual teams." Virtual teams that work: Creating conditions for virtual team effectiveness 21-36.
- Rob, I.(2012) "Auto-disabilities: The case of shared space environments." Environment and Planning A 44.9 2260-2277.
- Lowe, Marcia D. (1990) "Alternatives to the automobile: Transport for livable cities." Ekistics 269-282.
- Norgate, Sarah H. (2012) "Accessibility of urban spaces for visually impaired pedestrians." Municipal Engineer 165.4 231-237.
- (Hisham Elser Bilal Salih, TAKEDA Kazunori, KAKIZAWA Toshibumi, KOBAYASHI Hideyuki, MORI Mayu)